

地域再生計画（地方創生港整備推進交付金）事後評価調査書

都道府県名	大分県	事業実施主体	大分県	地域再生計画名	豊前海地域の漁業活動を支えるみなとづくり計画
計画期間	平成28年度～令和4年度	評価責任者	大分県土木建築部港湾課長 清永隆志、大分県農林水産部漁港漁村整備課長 山口甲一郎		

①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	達成状況		最終目標値の実現状況に関する評価
	指標1	指標2	基準年度	年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標総数		達成数		
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標1	今津漁港：出漁における潮待ち日数の削減	30日	H27	20日	H30	20日	0日	R4	0日	○	広大な干潟からなる遠浅な地形となっており、出漁時における潮待ちが問題となっていたが、航路浚渫により水深を確保し、防砂堤により漂砂、流砂による航路内の堆積を防ぐことが可能となり、安全な出漁回数を確保することが出来た。 港内泊地・航路の浚渫が完了し、必要水深が確保され潮待ち日数削減を達成。 防砂堤整備、航路浚渫により出漁回数が確保され、漁獲量が向上した。
	指標2	臼野港：砂・砂利運搬船が入港するための潮待ち日数の削減	40日	H27	30日	H30	30日	0日	R4	0日	○	
	指標3	今津漁港：一人あたりの年間漁獲量の向上	3.1t/人	H27	3.4t/人	H30	2.4t/人	3.6t/人	R4	4.1t/人	○	
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標1											
	指標2											
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価						
			計画	中間年度(H30)	最終実績							
特別措置を適用して行う事業	港湾整備事業【臼野港】 泊地 航路 防砂堤		A=12,100m2 A=1,300m2 L=345m	A=7,728m2 A=0m2 L=28m	A=12,100m2 A=1,300m2 L=345m	計画通り、実施。今回の整備により入港の潮待ち日数が軽減され、施設利用者の増加につながったと考えている。また、安全に航行可能な範囲が広がったことにより、大型船舶と小型船舶の接触事故などの危険性も改善されたと考えている。						
	漁港整備事業【今津漁港】 防砂堤 防風柵 道路 航路浚渫		L=28m L=174m L=40m L=1560m	L=28m L=0m L=0m L=1310m	L=28m L=174m L=40m L=1560m	計画通り、実施。防風柵を整備することで、安全な出漁準備、陸揚げ作業を行うことが可能となった。また防砂堤の整備、航路浚渫により水深が確保され、出漁時の潮待ち回数が減少し、かつ安全な漁業活動が可能となった。						
その他の事業	-		-			-						
計画外で独自に実施した事業	水産環境整備事業（大分県北部地区）		計画的に増養場および漁場の整備を行う。			幼稚魚の保護・育成場造成を目的に増養場および漁場の整備を行い、令和5年度に事業が完了している。						
	戦略魚種ハモ資源管理対策事業		ハモ資源の分布、産卵時期等を調査し、資源管理手法を検討する。			ハモ資源の分布、資源量、産卵時期等を調査し、資源管理手法を検討するとともに、資源管理計画による指導方針の作成を行うことで、ハモの資源増大が図れる。						
	アサリ増養殖推進事業		アサリ漁場の調査、天然種苗を用いた養殖技術の確立を行う。			漁場モニタリング、生息環境条件調査、天然種苗を用いた漁色技術の確立を行うことで、豊前海の貝類の漁獲量増大が図れる。						
④評価方法	学識経験者等（第三者）に意見を求め、最終目標値の実現状況に関する評価・検討を行った。											
⑤事後評価の公表方法	大分県のホームページに掲載。											
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、地方創生港整備交付金を活用した港湾と漁港の一体的な整備により、安全で安定した漁業活動を行える環境を整備し、出漁機会の増加を図ることで安全で快適な漁業活動を確保することを目的としており、施設整備については全て完了した。 最終目標値も概ね達成しており、港湾事業では防砂堤の整備、航路・泊地の浚渫、漁港事業では防風柵、防砂堤の整備に伴い、泊地内および航路での安全の確保かつ出漁回数を増加させることが出来た。今後は漁業活動のさらなる安定化のため、別事業にて漁港施設の維持管理、泊地航路の堆積状況の確認等を計画していく必要があると考えられる。											
⑦今後の方針等	特になし。											